

Seaguliy

シーグリー

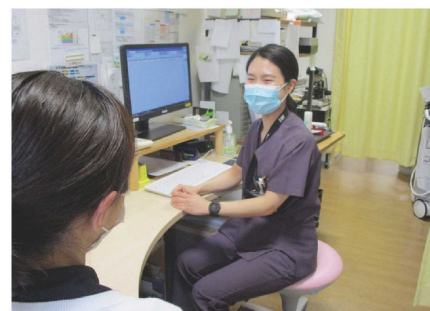
シーグリーとは
市の鳥カモメ (seagull) と市の
花ユリ (lily) を合わせた造語。
ユリの花言葉のように純粋・
無垢に患者様と向き合います。

令和4年4月より、当院に2人の常勤医師が着任いたしました。

産婦人科医員 あいさつ



かとう ゆり 医師
加藤 優里 医師



令和4年4月より当院の産婦人科に赴任いたしました、加藤優里と申します。福井大学医学部附属病院の産科婦人科教室に所属しております。

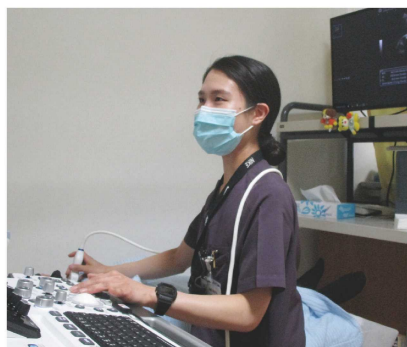
出身地は福井県です。生まれは小浜市ですが、小学生から高校生の間はこの三国町に住んでいました。今回、こうして三国病院で勤務させていただくこととなり、非常に嬉しく、ご縁を感じています。出身大学は福井大学で、大学卒業後は福井大学医学部附属病院で2年間初期研修を行いました。産婦人科医となった後は、福井大学医学部附属病院、杉田玄白記念公立小浜病院、公立丹南病院で勤務しました。さまざまな病院で勤務した経験を生かしていけるといいなと思っています。

産婦人科には、「周産期」、「婦人科腫瘍」、「生殖・内分泌」、「女性のヘルスケア」の4領域があります。産婦人科は、妊婦健診や子宮がん検診のみではなく、生理痛や月経不順、無月経、月経前症候群などの月経に関する症状や、不妊症、子宮や卵巣の腫瘍、更年期障害、骨盤臓器脱（いわゆる子宮脱）など、女性のライフステージの中で生じる身体の不調や疾患を診させていただく診療科です。三国病院は外来診療が中心となっておりますが、入院での加療や小手術もさせていただいております。また、福井大学医学部附属病院をはじめ、県内他病院の産婦人科とも連携しているため、患者さんの状態や必要に応じて適切な医療機関へ紹介させていただくことが可能です。お産に関しては、陣痛・分娩・回復までを同じ部屋で過ごすことのできるLDR室が設置されています。陣痛室から分娩室への移動などの負担もなく、妊婦さんにとって良い環境でお産ができる病院です。ひとりでも多くのお母さんと赤ちゃんの笑顔を見ることができるといいなと思っています。

また、三国病院の産婦人科は乳がん検診に力を入れております。乳がんは婦人科疾患と認識されている方が多いかと思いますが、一般的には外科で診療されます。三国病院の産婦人科のように、子宮がん検診にあわせて乳がん検診を受けたり、妊婦健診時に乳房超音波検査を受けたりすることができる産婦人科は数少ないです。そのような産婦人科のある病院で勤務させていただけることは非常に貴重な機会だと思っています。

日常生活でお困りの症状がある際は、お一人で悩まず、ぜひ産婦人科を受診してください。同じ女性の立場から、患者の皆様の悩みに共感できることも多いと思います。なかなか相談しづらいような症状や、小さなことでも気軽に相談していただきたいです。

ひとりひとりの患者さんに適した医療を提供できるよう、日々精進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



耳鼻咽喉科医長 あいさつ



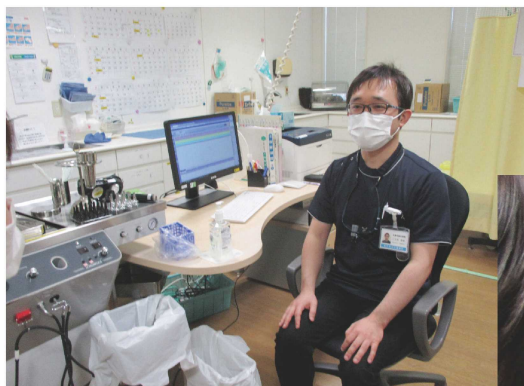
にのみや たかひろ
二之宮 貴裕 医師

令和4年4月から当院の耳鼻咽喉科に赴任いたしました二之宮貴裕と申します。福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局の所属になります。

これまで当院では非常勤医師による外来診療のみの体制でしたが、常勤医師としての赴任となりますので、入院診療にも対応できるようになりました。扁桃炎などの感染症、急性難聴、めまい、末梢性顔面神経麻痺など、様々な疾患の入院加療に対応可能となりました。

外来診療については、令和4年6月より、月曜日～土曜日の午前中および月・金曜日の午後となり、従来に比べて診療枠を拡大しております。

現在できるだけ早く処方できるように調整している治療の一つとしての、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法について紹介させていただきます。舌下免疫療法とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)の錠剤を、毎日自宅で継続して摂取することによって、アレルギー反応そのものを減弱させていく治療です。スギ花粉症とダニ・ハウスダストアレルギーに保険適用があります。3年以上継続するという根気は必要となりますが、従来からある内服や点鼻薬のような対症療法と異なり、完治を目指すことが可能な新規治療となります。対象となる患者さんは幅広く、治療開始から3カ月程度経過していれば妊娠中や授乳中でも安心して治療継続が可能です。夏頃までには処方できる体制を整える予定ですので、興味や質問がある際はお気軽にご質問ください。



副院長のご紹介

この春より、前任の加藤栄一医師に代わり、当院の内科医である阿部和男医師が新しく副院長に就任いたしました。

阿部医師は一般内科および肝炎・肝硬変の肝臓疾患診療を専門としております。

今後ともよろしく願いいたします



4月から当院に新しく加わったスタッフをご紹介します！

診療技術部 臨床工学技士

かわばた こうじ
川端 光志

臨床工学技士として主に透析業務に携わっています。

先輩方から色々なことを吸収し、頑張っています。今後ともよろしく願いいたします。

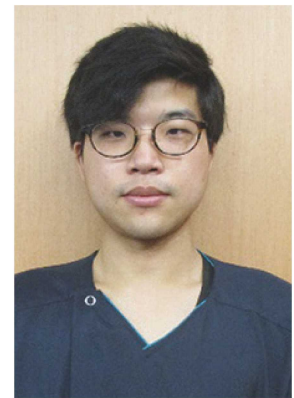


診療技術部 理学療法士

なかじま やすたか
中嶋 康隆

主に入院患者さまの退院に向けたリハビリを担当しています。大変なこともあります。充実した日々を過ごしています。

地元である三国町に少しでも貢献できるように、これからも努力して参ります。



がん看護専門看護師の紹介



看護部 主任看護師
ますい さなえ
梶井 佐奈枝

看護専門看護師を目指しました。

普段は当院の外来に勤務し、患者さまやご家族とは外来通院中から、入院・退院時だけでなく、退院後も継続して関わりを持たせていただ

私は患者さまの思いを汲み取り“からだ”だけでなく“こころ”のつらさにも寄り添える看護師でありたい、そして患者さまとご家族が自分らしくがんと付き合いの中で、その方々のこだわりや生きる力、揺れ動く気持ちを支え続けたい、という思いから、がん

いております。そしてあるがん患者さまの「退院後の私を見に来てほしい」という言葉から、退院後の訪問指導を始めました。

退院後1か月以内の患者さま（坂井市・あわら市に在住、在施設の方）が、安心して在宅または施設での療養を継続できるよう、医師の指示により当院の看護師等が在宅・施設を訪問（5回まで）し、療養のための指導を行います。また、患者さまの在宅・施設での療養環境の向上を目的に訪問看護ステーションの訪問看護師等と一緒に訪問する場合があります。

患者さまの“その人らしい生活”を支え、その方の望む形に近い生活に戻ることができるよう支援するためには、地域医療連携の力は重要であると考えております。今後も地域に根差した病院として皆様が安心して過ごすことができるように支援させていただきます。

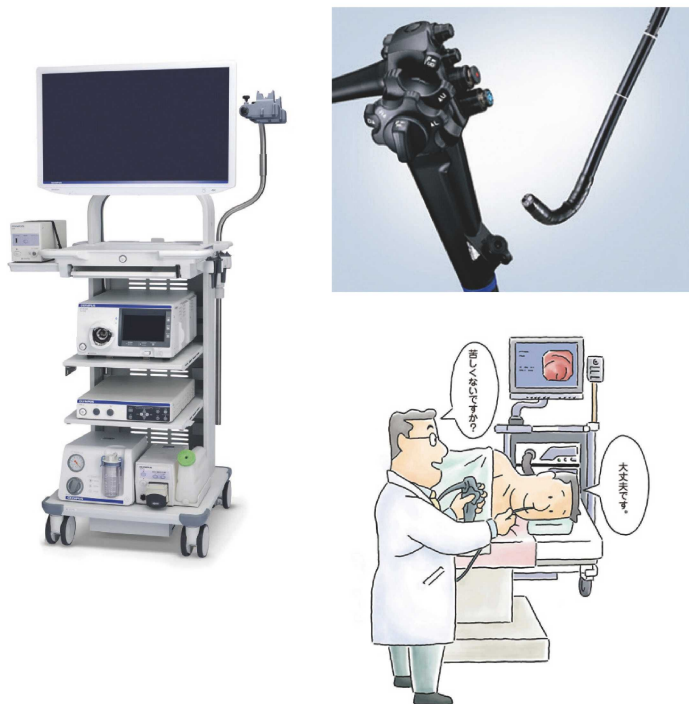
内視鏡検査室からのお知らせ

4月より最先端技術を搭載したオリンパス社製の内視鏡システムとスコープを導入いたしました。

波長を変化させた光を使用した『特殊光』と呼ばれる観察技術や、より病気を判別しやすくする拡大観察機能を搭載した内視鏡を導入したことでより精度の高い検査や処置が可能となりました。

また、新しく導入した鼻から入れる内視鏡は苦痛が少ないというメリットだけでなく今まで以上に観察能力が高くなり、口から入れる内視鏡と変わらない水準の検査が可能となっています。

今回導入した内視鏡を活用し、病気の早期発見や検査・処置時間の短縮など皆様の健康に貢献できるよう努めてまいります。



福井イーストライオンズクラブ様から車椅子を寄附いただきました

令和3年11月に福井イーストライオンズクラブ様から車椅子2台、多目的車椅子1台を寄附いただきました。この寄附は福井イーストライオンズクラブ10周年記念事業の一環として行われたものです。

いただいた車椅子は当院の外来、リハビリテーション科にて活用させていただいております。



鈴嶋院長から高橋宏之第一副会長へ感謝状が手渡された

column

先日観た映画の主人公が、子供の教育に極めて合理的でクールな思考の親役に「正しいことを行うことが大切なことはわかるが、時には正しいことより大事なことがある。それは優しさだ」みたいなセリフを言っていた。杓子定規な正しさは人間味がなく子供の教育に良くないという意味と捉えた。古今東西の偉人と呼ばれる人たちが真の「優しさ」について、色々述べているが定義はわからない。釈迦はどんな人間でも「仏の心」が備わっているという。長引く疫病、国際紛争、それに伴う経済への悪影響。世情が混迷しているときに無味乾燥な策や方法論だけを思考するのではなく、抽象的で正解があるのかわからない真の「正しさ」「優しさ」とは何かを思索することも必要ではないかと。その映画を観て感じた。

